



陽風園だより

No. 104

令和4年
1月発行
春夏秋

冬

■ もくじ

- P2 各施設近況報告
- P7 新規採用職員内定式
エコキャップ運動
- P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに

養護老人ホーム 向陽苑 崎浦

12 月15日(水)に『年忘れ会』を開催しました。

まずはじめに、社会福祉施設利用者余技展覧会で受賞した方の表彰式を行いました。その後、転倒防止体操をして体をほぐし、施設で週2回行っている「いきいきクラブ」のメンバーによるリズム体操をして体が温まったところに、ジェスチャーゲームがスタート、職員が舞台の上で出されたお題に必死にモノマネする姿に盛り上がりました。

最後に職員による余興として、『どじょうすくい』を披露しました。特殊メイク(?)に扮装した職員2名の華麗などじょうすくいに会場は大爆笑の渦となりました。

コロナが去り、令和4年は明るく笑顔で過ごす日々なることを願います。笑う門には福来たる！



養護老人ホーム 向陽苑 木曳野

新 型型コロナウイルス感染症予防をしながら、行事を行いました。スタンプラリー、紅葉ドライブ、法人創立記念喫茶、年忘れ会を実施しました。

健康維持を目的としたラジオ体操スタンプラリーは、夏も実施しましたが、今回はより多くの方に参加していただきました。

例年、年忘れ会の主役はにぎり寿司ですが、嚥下機能の低下による誤嚥リスクの高い利用者様には代替として、ちらし寿司を提案していました。しかし「にぎり寿司をどうしても食べたい」という声に答え、昨年から木曳野調理員が腕を振るい、本物のにぎり寿司と見間違えるほどの出来栄の“柔らかにぎり寿司”を今までのちらし寿司に加え選べるようになりました。“柔らかにぎり寿司”を食べた利用者の皆様からは「お寿司を食べられて良かった」「やっぱり寿司は最高や」と好評でした。

今後も皆様が笑顔になるよう取り組んでいきます。



特別養護老人ホーム 万陽苑

万 陽苑清風館（ユニット型）では、月に2回「作って食べよう会」を開催しています。その名の通り、利用者様自身で「作って」みんなで美味しく「食べよう」という趣向で、季節の野菜や果物を使って、おやつ作りに取り組んでいます。料理自慢の方が腕を振るってくださるのは勿論のこと、料理初心者の方も周りからのアドバイスを受けながら、毎回楽しく作っています。

この日は南瓜を使ってプリン作り。南瓜をつぶしたり、つぶしたものをペースト状にしたり、火加減を見守ったりと、盤石のチームワークで見事完成！美味しくいただいたのは言うまでもありません。



特別養護老人ホーム 第二万陽苑

陽 風園法人創立記念の日にちなみ、純喫茶『TASABURO』をOPENいたしました。園祖小野太三郎翁を想い、昔懐かしいレトロな雰囲気をお楽しみいただきました。

ショートケーキにチーズケーキ、モンブラン、チョコレートケーキ、かぼちゃプリンなどなど…お好きなスイーツを選んでいただき、コーヒー片手に笑顔がこぼれます。

このようなご時世ですが、少しでも心穏やかなひと時をお過ごしいただけるよう努めてまいります。



特別養護老人ホーム 第三万陽苑

外 出行事がままならない昨今、何か利用者の皆様
が楽しめることはないかと知恵を絞った結果、
初の試みとして「食を楽しむイベント」の開催に取り
組みました。

9月17日(金)ドミノピザが行っている、地域に向け
た支援活動「無料ピザで地域支援」に応募し、当選！利
用者の皆様にピザを食べていただくことができました。

11月5日(金)「クレープとシフォンケーキのキッ
チンカーallie(アリー)」にご協力いただき、青空の下で
カフェを開きました。

どれも普段はなかなか口にしない食べ物で、利用者
の皆様の「珍しそうに眺めた後に口へ運び、微笑み
ながら頬張る姿」が印象的でした。



陽風園地域福祉プラザ

陽 風園デイサービスセンター、陽風園木越デ
イサービスセンターでは、利用者様の生活に
楽しみ、うるおい、刺激を提供することができる
ように、新型コロナウイルス感染予防を徹底しな
がら利用者様と一緒にを行う作品作りや、三密を避け
ながらの車窓からのドライブなど趣向を凝らした
様々な企画、行事を行っています。

利用者様の安心安全を守りながら、五感で季節を
感じることができるよう、これからも工夫してい
きたいと思います。



救護施設 三陽ホーム

令 和3年10月27日(水)、陽風園創立記念ゲーム大会を行いました。

内容は、魚釣りコーナー、射的コーナー、悪霊退散コーナー、じゃんけんコーナーを回るもので、密を避けるため少人数ずつでの参加となりました。

魚釣りゲームは、磁石で引き上げるのですが、大きい魚を釣ろうと真剣かつ慎重に挑んでいました。射的コーナーでは、見事な構えで的を狙う方や、昔懐かしい縁日を思い出す方もいたようです。悪霊退散コーナーは、お化けに見立てたポリ袋をうちわで扇ぎ、1分間で何体飛ばせるかで点数が決まりますが、熱中するあまり、うちわを壊す方もいました。最後のじゃんけんコーナーは一発勝負ということで、気合が入り、ついつい「じゃんけんぽん！」と大きな声が出てしまったりもしていましたが、皆さん楽しそうで、参加賞および80点以上の高得点者はあげぼの作業所のクッキーをもらいニコリしていました。

コロナ禍での外出制限等のストレスが解消され、心身のリフレッシュを図ることができたのではないかと思います。



障害者支援施設 ハビリポート若葉・若竹

今 回は、昨年11月に開催された行事、「フェスタ ハビリ」の様をご紹介します。ハビリポート若葉・若竹の数ある行事の中でも規模が大きいこともあり、利用者の皆様から親しまれています。

まずは模擬店コーナーから。今年は絶好の秋晴れに恵まれ、ガーデンテラスにハビリ名物キッチンカーの移動販売が軒を連ねました。季節を味わえる様々な軽食が提供され、開放的に食事を楽しんでいらっしゃいました。

ゲームコーナーも欠かせません。今回は密を避けるために、普段より多くの種類のゲームを分散させて配置しました。皆様童心に帰り、とても素敵な表情で「いつもよりたくさん遊べた」と「遊び」の心に溢れた時を満喫されたご様子でした。

そして今回は微力ながら職員による余興も披露させていただきました。題して「この人は誰でしょう!」。ほぼ毎日顔を合わせている職員たちの人気絶頂の時代をお見せし、どの職員かを当てていくクイズです。「全然わからん!髪型が昭和〜(笑)」などの愉快なお言葉や、「あな、昔は綺麗やったんやね」などの辛辣なお言葉も聞かれ、時には拍手喝采がわき起こる場面も。職員の次回作への意欲に繋がりました。



就労継続支援B型 **あけぼの作業所**

12 月24日(金)に忘年会を行いました。新型コロナウイルス感染が減少傾向だったので、今年初めてみんなでランチを食べに行くことが出来ました。

二胡の生演奏を聴きながら中華料理を堪能し、最後にはサンタさんからプレゼントもあり、楽しい時間を過ごしていました。



認定こども園 **みずきこども園**

みずきこども園では毎年年長児が繭玉を作り、お正月を迎える準備をしています。

繭玉といえばやはり繭の花が咲いたような柳の木です。柳の木については金沢市の緑と花の課の御協力をいただいています。こども園では、柳の木からこだわり大きさや形、そして葉をちぎる工程も子ども達と進めています。自分より大きな木を見上げ「すごいね」「これ何の木?」と身近な木に興味を持ち始めます。繭玉となるお餅を枝に付ける時には小さなころから楽しんできた粘土遊びのように手のひらでコロコロと転がし形を整えていきます。「あれ?重くて落ちる」「小さくてくっつかない」など大きすぎても小さすぎても上手くいかず丁度良い具合が大切なことに子ども達は自分の経験を通して気が付いていきます。大きな木に沢山の飾りをつける時には、自分一人の力ではなかなか繭の花が満開にならずそこに工夫が必要だとわかり、友だちとの協力も生まれます。そして最後は、子ども達みんなの力で繭玉の完成です。

このようにみずきこども園では日本ならではの伝統行事に触れ、身近な素材で新年の準備をし子ども達と新しい年を迎えることが出来ています。これも地域の方の御協力があることだと感じています。今年も子ども達の笑顔と共に新しい年を迎え、子ども達の健やかな成長を見守っていきたいと思います。



01 新規採用職員内定式

去る11月27日(土)、令和4年4月新規採用職員の内定式が執り行われました。福祉を志し、陽風園への就職を決めた大学生、短大生、専門学生、高校生の14名の方々にご出席いただきました。

内定式では、まず丸口理事長から社会における福祉の役割、そして新卒者の方々に向けた激励のお言葉を頂戴しました。続いて写真撮影、内定承諾書の記入を行い、出席者の皆さんからは緊張感が伝わってきました。また、先輩職員の手を借り、春から袖を通すユニフォームの採寸をしました。陽風園の一員になる実感が湧く瞬間です。

その後はグループに分かれ、先輩職員との懇談会にご参加いただきました。より前向きに4月を迎えてもらえるよう、就職に向けた不安や、知りたいことを先輩職員にぶつけてもらいました。どのくらいで仕事に慣れたか、仕事の中で何が大変かなどの業務に関することから、休日はどのようにリフレッシュしているか、残業はあるかなど実際に就職した後の生活を意識した質問もあり、緊張もほぐれ、和気あいあいと交流しお開きとなりました。

これからの陽風園を担う、新しい仲間となる皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



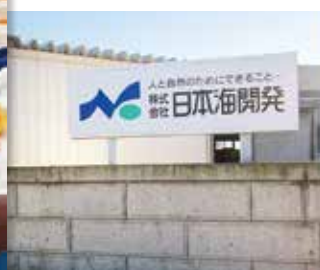
02 エコキャップ運動

陽風園では、社会貢献活動の一環としてエコキャップ運動を実施しています。

この運動は県内の回収業者にペットボトルのキャップ(ふた)を持ち込むことで、その売却益を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ送り、世界の子どもたちにワクチンを届けるボランティア活動です。

法人内の各施設からペットボトルキャップを集め、三陽ホームの利用者が選別作業を行った後、回収業者である(株)日本海開発へ届けています。キャップ2kg(約1000個)でポリオワクチン1名分に相当します。今年度は5月と11月の計2回で270kgが集まりましたので、135名分のワクチン支援ができました。

これからも法人内でできる取り組みを検討しながら、社会貢献活動を推進していきたいと思えます。



感謝録 9月~12月

volunteer message board
ボランティヤ
掲示板



北陸学院大学短期大学部
収穫感謝祭



JA石川県
女性組織協議会



ササユリ
編物サークル

新型コロナウイルス (COVID-19) の感染予防対策につきまして、陽風園の対応や各施設の対応状況は、別途ホームページ (<https://www.yofuen.com/>) で公表させていただいておりますので、そちらをご確認ください。

◆ ボランティア

- 吉川 操貴
- 北陸学院大学短期大学部 収穫感謝祭
- ドミノピザ

◆ 寄付物品の部

- 中田 美則
- 佐久間由也
- 上坂 芳子
- 横山 佐織
- ササユリ編物サークル 赤田 昭乃
- 匿名1名

◆ 寄付金の部

- 安田 信夫
- 岸 桂子
- 吉田 耕作
- 金沢パイロットクラブ 会長 前田 順市
- JA石川県女性組織協議会
- 崎浦ボランティアの会
- 菊川社会福祉協議会 代表 山二 光三
- 令和3年度北國愛のほほえみ基金
- 匿名15名

ご厚意ありがとうございました。

◎ 実習・体験

- 専門学校アリス学園介護福祉学科
(介護実習Ⅰ②) (万陽2名、第二2名)
- 北陸学院大学短期大学部食物栄養学科
(校外実習) (第二2名、第三2名)
- 専門学校アリス学園介護福祉学科
(介護実習) (第三2名)
- 金沢医療センター附属金沢看護学校
(在宅介護実習 (オンライン)) (プラザ92名)
- 金沢医療センター附属金沢看護学校
(在宅介護実習) (プラザ8名)
- 金城大学 (介護実習Ⅲ) (三陽2名)
- 日本福祉大学 (ソーシャルワーク実習) (ハビリ1名)
- 金城大学 (ソーシャルワーク実習) (ハビリ1名)
- 石川県立いしかわ特別支援学校
(特別支援学校実習) (あけぼの1名)
- 金沢星稜大学 (保育実習Ⅱ) (みずき1名)
- 神戸松蔭女子学院大学 (保育実習Ⅱ) (みずき1名)

◎ 社会貢献活動

- 崎浦クリーン作戦 (本園)
- 南小立野小学校ふれ愛リサイクル (本園)
- 内川スクールサポート隊 (第三・ハビリ)